

令和4年10月14日  
都市整備部沿線まちづくり担当

## 「(仮称) 地下鉄8号線沿線まちづくり構想」策定に向けた 現状と今後の予定について

### 1 ワークショップ

#### (1) 委員について

地下鉄8号線沿線や各駅周辺における将来のまちの姿等を共有するため、拠点となる豊洲駅、新駅①、東陽町駅、新駅②、住吉駅の5グループに分けたメンバー構成とした。

- |            |                 |         |
|------------|-----------------|---------|
| ア 町会、地域団体等 | 4名×5グループ=20名    |         |
| イ 公募       | 5名×5グループ=25名    |         |
|            | ※公募期間：5/16～6/16 |         |
|            | 応募者数：146人       |         |
| ウ 学生       | 1名×5グループ=5名     | 全体合計50名 |

#### (2) 開催方式について

ワークショップ開催に向けて、当初全委員による対面方式を想定していたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、対面・オンライン・書面による参加方式とし、委員の希望による選択可能なものとした。

#### (3) 実施概要について

<b>【第1回】</b> 7月23日(土) 豊洲IHIビル 対面：22名 オンライン：15名 書面：13名			
1 まちづくりに期待することや想い			
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺空間の活用</li> <li>・伝統や文化の継承</li> <li>・地域資源の醸成</li> <li>・住みやすい地域の構築</li> <li>・ユニバーサルデザインに配慮</li> <li>・民間活力を活かす仕組み</li> <li>・地域間交流の強化</li> <li>・商店の充実</li> </ul>		
2 各駅周辺のまちの魅力や課題			
主な意見	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <b>【魅力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺に囲まれた環境</li> <li>・交通環境の良さ</li> <li>・人(町会や多世代のつながり)</li> <li>・拠点となる施設(豊洲市場等)</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の魅力向上</li> <li>・防災、水害対策</li> <li>・水辺空間の活用</li> <li>・交通網の整備</li> </ul> </td> </tr> </table>	<b>【魅力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺に囲まれた環境</li> <li>・交通環境の良さ</li> <li>・人(町会や多世代のつながり)</li> <li>・拠点となる施設(豊洲市場等)</li> </ul>	<b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の魅力向上</li> <li>・防災、水害対策</li> <li>・水辺空間の活用</li> <li>・交通網の整備</li> </ul>
<b>【魅力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺に囲まれた環境</li> <li>・交通環境の良さ</li> <li>・人(町会や多世代のつながり)</li> <li>・拠点となる施設(豊洲市場等)</li> </ul>	<b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の魅力向上</li> <li>・防災、水害対策</li> <li>・水辺空間の活用</li> <li>・交通網の整備</li> </ul>		

【まち歩き】 各自自由実施
第1回の意見交換を踏まえて、各駅周辺の魅力や資源等を再確認

【第2回】 8月27日(土) 東川小学校 対面：34名 オンライン：11名 書面：5名	
1 地下鉄延伸後のまちづくりにおいて重要なテーマ	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全、安心、防災</li> <li>・暮らし、利便性</li> <li>・水辺空間</li> <li>・交通</li> <li>・賑わい、交流</li> <li>・商店街</li> <li>・地域資源</li> </ul>
2 各駅周辺で目指す姿	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行環境、舟運を活用した繋がり（5駅共通）</li> <li>・防災、安全、安心に配慮したまち（豊洲駅）</li> <li>・環境を意識したまち（新駅①）</li> <li>・区役所をランドマークとした、あるく、つなぐまち（東陽町駅）</li> <li>・人が集うまち（新駅②）</li> <li>・様々な施設が一体化したまち（住吉駅）</li> </ul>

【第3回】 9月10日(土) ホテルイースト21東京 対面：39名 オンライン：6名 書面：5名	
1 各駅周辺で目指す姿実現に向けた取り組み	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舟運、バス、次世代モビリティの活用</li> <li>・歩行空間の整備</li> <li>・コミュニティ、交流の促進</li> <li>・周辺地域、施設との連携</li> <li>・地域名物の創出</li> <li>・猿江公園内施設の整備</li> </ul>
2 各駅周辺の目指す姿から考える沿線全体で目指す姿	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通、人、伝統と文化がコンパクトにつながる個性豊かなまち</li> <li>・こうとう湾（ワン）ダーラインー下町と臨海部をつなぐまちー</li> <li>・江東区が再評価されるまち</li> <li>・安全安心で、歴史を未来につなげ、生活の中心としてにぎわいのあるまち</li> <li>・温故知新（新旧融合）</li> </ul>

## 2 アンケート分析等について

アンケートは紙面及び Web による方法で実施し、回答数(回答率)は以下のとおりである。

種別	上段:対象者		世代別回答率(%) ※無回答除く					
	下段:回答数(率)		29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
紙面	区内居住 7,000 (無作為)		8.1	18.0	21.2	21.1	14.3	16.9
	1,770件(25.28%)							
Web	区内外問わず誰でも回答可能	区内	6.6	27.8	30.9	23.2	8.9	2.6
	1,392件(区内) 63件(区外)	区外	12.7	57.1	17.5	11.1	1.6	0.0

アンケート結果から、以下のような全体総括となった。

※Web アンケートも同様の傾向であった。

沿線全体	
(1)新たな機能／(2)重要な取組み／(3)活かすべき魅力	
<p>●災害(特に水害)や自転車・道路整備環境対策のほか、水辺や公園等の憩いと交流機能に加え、飲食店やレジャーなどの商業機能の充実が求められている。</p>	
<p>(1)多くの駅で「飲食店やカフェなど」が21.4～25.8%と回答割合が最も高い。</p>	
<p>(2)全ての駅で「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」が27.4～37.3%と回答割合が高い。</p>	
<p>(3)全体で「水辺・運河」が21.2%と回答割合が高い。</p>	
各駅周辺	
(1)新たな機能／(2)重要な取組み／(3)満足度	
<p>●「豊洲駅周辺」では、既存の水辺や公園などの環境維持、交通機能の更なる充実とともに、防災上の安全性確保が求められている。</p>	
<p>(1)「水上バスや自動運転バスなどの新たな交通機能」が26.9%、「スポーツなどを楽しめる多目的広場・屋内施設機能」18.3%と回答割合が高い。</p>	
<p>(2)「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」が37.3%と突出して多い。</p>	
<p>(3)暮らしやすさの満足度は9割を超え、特に身近な公園・水辺等の環境や病院・教育環境等の住環境の満足度が高い。一方、南北移動・自転車駐車場等の交通環境、水害・震災等に対する安全性の満足度が低い。</p>	

各駅周辺
(1) 新たな機能／(2) 重要な取組み／(3) 満足度
<p>●「新駅①周辺」では、交通環境向上、防災上の安全性確保と共に、商業機能の充実や休息・休憩施設等、暮らしやすさの向上が求められている。</p> <p>(1)「飲食店・カフェなどの休息・休憩施設」が25.8%、「日常の買い物ができる商業施設」が23.7%と回答割合が高い。</p> <p>(2)「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」が31.6%と最も多い。</p> <p>(3)暮らしやすさの満足度は8割を超え、特に身近な公園等の住環境の満足度が高い。一方、南北移動等の交通環境、水害に対する安全性の満足度が低い。</p>
<p>●「東陽町駅周辺」では、既存都市内みどりや多様な都市機能の維持・向上、交通結節点機能の強化、防災上の安全性確保が求められている。</p> <p>(1)「飲食店・カフェなどの休息・休憩施設」が21.4%、「日常の買い物ができる商業施設」が18.5%と回答割合が高い。</p> <p>(2)「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」が31.5%と最も多い。</p> <p>(3)暮らしやすさの満足度は9割程度であり、特に身近な自然等の環境や病院・文化施設、日常の買い物等の住環境の満足度が高い。一方、南北移動・自転車駐車場等の交通環境、水害・震災等に対する安全性の満足度が低い。</p>
<p>●「新駅②周辺」では、自然環境の維持保全、商業機能充実による暮らしやすさの向上、防災上の安全性確保と歩行者環境の充実が求められている。</p> <p>(1)「飲食店・カフェなどの休息・休憩施設」が26.0%、「日常の買い物ができる商業施設」が22.4%と回答割合が高い。</p> <p>(2)「震災・水害に強い強靱な都市空間づくり」が27.4%と最も多く、「快適に過ごせる歩きたくなるまちづくり」が次いで多い。</p> <p>(3)暮らしやすさの満足度は9割程度であり、特に身近な自然・公園等の環境や病院・教育環境等の住環境の満足度が高い。一方、自転車やバリアフリーに関する環境、水害・震災等に対する安全性の満足度が低い。</p>
<p>●「住吉駅周辺」では、多くの人を訪れる拠点として、商業・生活機能充実や、誰もが使いやすい交通結節点機能の強化が求められている。</p> <p>(1)「飲食店・カフェなどの休息・休憩施設」が26.5%、「日常の買い物ができる商業施設」が18.8%と回答した割合が高い。</p> <p>(2)「高い生活利便性を享受でき、多様なライフスタイルが実現可能なまちづくり」が「震災・水害に強い強靱な都市空間」に次いで多い。</p> <p>(3)暮らしやすさの満足度は8割を超え、特に身近な自然・公園・水辺等の環境や、病院や日常の買い物等の住環境の満足度が高い。一方、自転車に関する環境、水害・震災等に対する安全性の満足度が低い。</p>

### 3 出前講座について

- (1) 日程：9月15日(木) 扇橋小学校(5年生3クラス)  
9月16日(金) 枝川小学校(5年生4クラス)  
9月20日(火) 川南小学校(5年生2クラス)
- (2) 内容：地下鉄8号線延伸の歴史や中間新駅の位置、まちづくりの必要性等について講座を実施し、「ドローンによる安全監視」等こどもならではの意見や、「自然環境が充実したまち」等ワークショップと共通する意見もあった。
- その後、先生主導による授業の中で、こどもたちが考える未来のまちを絵などにまとめ、その作品を機運醸成イベントで展示する。

### 4 機運醸成イベントについて

- (1) 日程：10月29日(土) 南陽小学校  
11月6日(日) 豊洲西小学校
- (2) 内容：芝浦工業大学教授による講演  
意見ヒアリング  
ワークショップ成果の展示  
小学生「203X年のみんなのまちを考えよう」作品展示  
鉄道に関する展示(地下鉄博物館特別展のパネル展示等) 等

### 5 今後のスケジュール(予定)

- 12月7日：令和4年第4回区議会定例会における  
地下鉄8号線延伸・交通対策推進特別委員会 報告  
「構想(素案)」
- 12月下旬：パブリックコメント
- 1月中旬：住民説明会
- 3月中旬：令和5年第1回区議会定例会における  
地下鉄8号線延伸・交通対策推進特別委員会 報告  
「構想(案)」